

かみさし 議会だより



No. 61

2009.2.10発行

題字 上富良野中学校 書道部 3年 桐生 未来



高田幼稚園



わかば愛育園



中央保育所



西保育園

福はうち！鬼はそと！

主な記事

自治基本条例を制定.....	P 2
上中野球部が全国大会に出場.....	P 3
平成19年度決算を認定.....	P 5
「教育行政について」など4名の議員が町政を問う.....	P 6
委員会所管事務調査報告.....	P 10

12月定例会

第4回定例会開催される

△町内14箇所に一般質問項目ポスターを掲示▽
第4回定例会が12月16日・17日の2日間開催されました。
本定例会では、自治基本条例の制定をはじめ、各条例の改正、補正予算、指定管理者の指定などが議決され、その他意見書の提出などが発議されました。



町の最高規範として 自治基本条例を制定

平成12年地方分権一括法の施行により、自分たちのまちのことは自分たちで責任をもって決めるという自己決定・自己責任が強く求められ、地方自治体の果たす役割と責任は大きくなっています。そのためには町民と情報を共有し、町民の参画・協働を基本としたまちづくりを進めていかななくてはなりません。

そこで、この条例を町の最高規範と位置付けして制定し、上富良野町におけるまちづくりの基本理念とまちづくりに関する基本的な事項を定め、町民の権利と責務、議会（議員）・町（町長・職員）の役割と責務を明らかにし、そのことによって、公正で民主的な自治の実現を図ることを目的とするものです。

「質疑」から

問 未成年者の参画の権利に対して、十分説明がなされていないが。

答 この条例が施行されたのがゴールではないので制定後も、未成年者を含め、町民に説明をしていきたい。

問 防災の中に国民保護がないが。

答 国民保護法は国を挙げた有事のことを想定している。我が町は別に国民保護法に基づく地域計画がある。

問 この条例は最高規範性であるが他の条例より上位なのか。

答 最高という文言をいれることにより最高規範性を担保している。

討論が行われました

地域説明会における「参加数の少なさに対する問題」「内容が分かりづらい」といった意見を真摯に受け止め、時間をかけて町民から意見を聞く努力をすべきである。また、この町の将来を担う子供たちへの説明会が開催されおらず、各種説明会等も参加人数が非常に少なく、本条例の一番大切な、「情報の共有と住民参加」の部分において、情報共有はおろか、情報の提供すら十分にされていない。これらのことは町民とともに育てるといった理念に大きく反するものであり、本条例に反対する。

反対 3

地方自治体の役割と責任が非常に重要になる中、町民、議会、町がそれぞれ役割を分担して、「協働のまちづくり」を進めていかなければならない。

賛成 10

これまでの町による説明は、町民代表の検討会議による審議の積み重ねや、広報誌の特集や出前講座、まちづくりトークの開催、パブリックコメントの実施、地域説明会の開催などあらゆる方法と手段を講じており、多くの意見を聞きながら条例案を修正し町民への理解を深めてきた。議会においても、十分な時間をかけて審議された経過があり、本条例の制定に賛成する。

上富良野町手数料条例の一部を改正する条例を可決

平成19年6月の建築基準法の改正により、建築確認審査における添付書類、新規項目の増加・複雑化によって審査確認が増加したことから、コストに応じた対価負担を反映させるため手数料の見直しを行うものです。平成21年4月1日から適用されます。

上富良野町営住宅管理条例の一部を改正する条例を可決

町営住宅における暴力団員の不当な行為等を防止する目的として、暴力団員の入居・同居及び継承等に制限を加え、町営住宅から暴力団員の入居を未然に防ぐ等、町営住宅の適正な管理を図るために、町営住宅管理条例の一部を改正するものです。

出産育児一時金が38万円に

平成21年1月1日から、産科医療補償制度が創設されることにより、同制度に加入する医療機関で出産した場合、出産育児一時金の支給額に3万円を加算して38万円が支給されることになりました。しかし、当町においては、少子化対策の一環として産科医療補償制度に加入していない医療機関で出産した場合においても、一律で38万円を支給するものです。

平成20年度各会計補正予算

平成20年度一般会計と他6会計において各事業の確定により交付金、債務負担行為、地方債等の額が決定したこと、また、需用費の燃料・電気料の価格変動による必要最低限の補正、基金の積立など、今後の財政事情に備えるため、予備費に一定額を計上した補正予算を可決しました。

12月補正予算の状況

会計名	補正額	総予算額
一般会計	1,630万9千円	74億2,025万4千円
国民健康保険特別会計	1,482万7千円	14億7,276万9千円
後期高齢者医療特別会計	895万1千円	8,607万7千円
介護保険特別会計	3,012万4千円	7億1,986万3千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	120万0千円	2億8,456万4千円
公共下水道事業特別会計	60万1千円	6億4,394万5千円
水道事業会計	277万9千円	4億6,827万1千円
病院事業会計	567万8千円	9億2,003万0千円

上富良野中学校野球部が全国中学生軟式野球大会に出場

上富良野中学校では、吹奏楽部に続いて野球部が北海道大会で優勝し、3月に千葉県浦安市で行われる全国中学生軟式野球大会に北海道代表として出場することになり、この大会に出場する部員と引率の教員の旅費などにかかる経費の一部を助成するため、129万円の補正予算を議決しました。



子どもセンター集合煙突アスベストの除去と改修に713万円の補正

現在改修中の子どもセンターのボイラーが不完全燃焼を起こし、調査したところ煙突の内部が崩落し煙道を塞いでいました。この煙突内部がアスベスト含有素材であったことから、飛散防止等適切な処理と改修を行うために、施工可能な業者の選択を行い、713万円の補正予算を専決処分しました。

ラベンダーの里かみふらのふるさと
応援基金に1000万円積立

ラベンダーの里かみふらのふるさと応援寄付条例が10月1日に制定されたことにより、ラベンダーを中心としたまちづくりを進めていくための財源を確保し、合わせて寄付の誘導を図るために同基金に1千万円の積立を議決しました。

さらに、十勝岳地区の振興対策に向けて、十勝岳地区振興基金に2千万円の積立も議決されました。

質疑から

問

ふるさと応援基金にこれまでどのくらいの申し込みがあったか。

答 4件、28万5千円の寄付があった。

町議会議員補欠選挙

11月30日執行の町議会議員補欠選挙において一色美秀氏と岡本康裕氏が無投票で当選しました。



一色美秀（64歳）

所属委員会 総務産建常任委員会
当選回数 1回
党派 無所属
職業 食品小売業



岡本康裕（43歳）

所属委員会 厚生文教常任委員会
議会広報特別委員会
当選回数 1回
党派 自由民主党
職業 自営業

3 意見書を国などに提出しました

介護労働者の人材確保と待遇改善に関する意見書

介護従事者等の確保を図るため、賃金をはじめ処遇改善のための施策を早急に実施することに関する旨の意見書です。

後期高齢者医療制度に関する意見書

高齢者を年齢で差別せず、いつでもどこでも、安心して医療が受けられる制度になるよう、見直しを求める旨の意見書です。

食の安全確保への抜本対策を求める意見書

安心・安全の食を守るため、国内における食糧自給率の向上と所得保障・価格補償等の制度を充実させる旨の意見書です。

第5回臨時会（11月4日開催）

一般会計補正予算（第7号）

福祉灯油事業と町立病院の多目的トイレ改修事業の追加補正。

病院事業会計補正予算（第2号）

介護療養型の老人保健施設に転換するための改修工事と入院収益の増額補正、介護療養型老人保健施設の科目新設など。

上富良野町地域福祉基金の一部支消の件
福祉灯油事業を実施するため、地域福祉基金から537万円を支消。

上富良野町病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

療養病床36床の廃止と、介護療養型老人保健施設28床の開設。

北24号排水路支線整備工事（H19国債）
請負契約変更の件

工事用道路・敷き鉄板の使用期間の短縮など当初設計からの増減に伴い、160万6千500円を減額。

演習場進入路・北24号道路舗装補修工事
請負契約変更の件

舗装資材等の増加に伴い、364万3千500円を増額。

財産取得の件（スクールバス）

平成7年購入の東中線わかば号を特定防衛施設周辺整備調整交付金の補助を受けて更新。

専決処分報告の件（交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定める件）

6月23日発生の交通事故が和解し損害賠償の額を定め、9月18日に専決処分を行ったことが報告されました。

平成19年度決算を認定！

～ 15項目の審査意見を付す ～



特別委員会を設置し、集中審議第4回定例会で平成19年度の各会計（一般・特別）及び企業会計の決算を認定しました。

平成19年度決算については、平成20年第3回定例会において上程され、理事者の趣旨説明、監査委員の審査報告のあと、直ちに決算特別委員会に付託されました。

これを受け、決算特別委員会が設置され、10月10・14・15日の3日間委員会を開催し、書類審査、質疑などを行いました。

また、決算の認定にあたっては、次の15項目にわたる審査意見を付しています。

審査意見

各会計（一般・特別）

1 町税等の収納について

町税等の滞納者に対する行政サービスの制限条例やコンビニ収納、管理職による滞納プロジェクトにより、職員の収納努力がみられるが、滞納者の状況分析に基づいたきめ細かな督促と納税相談を実施すると共に、悪質な滞納者には強制執行を含め、より一層の努力を図らねばならない。

不納欠損処分については、処分にあたりに、十分な方策を図り対処されたい。

2 需用費について

経費の節減に努め、特に燃料費については、単価の動向を見極めて購入するなど、節減に努められたい。

3 物品の購入について

物品の購入にあたっては、地域振興の観点からも町内業者を利用するよう強く進められたい。

4 防災について

自主防災組織の計画的な組織化と、総合防災訓練は一部地域が限定しマンネリ化しているため、今までの成果を活かし、自主防災組織と連携するなど、組織活動の充実に努められたい。

5 定住化対策について

住んでみたくなるようなサービスの提供も視野に入れ、さらなる施策の充実に努められたい。

6 補助金・負担金について

補助金・負担金については、見直しの成果

が見られるが、統廃合も考慮し、さらに精査して削減を図られたい。

7 日の出公園臨時駐車場について

日の出公園臨時駐車場の農地転用に不適切な面があったので、速やかに適切な措置をし、再発防止に努められたい。

（国民健康保険特別会計）

短期保険証及び資格証明書の交付については、分納相談を受けながら適切な対応を図られたい。

特定健診・特定保健指導については、

生活習慣予防住民健診の個別指導の充実に努め、より一層の医療費の軽減に努められたい。

（介護保険特別会計）

介護予防対象者の移送サービスを実施されたい。

（ラベンダーハイツ特別会計）

看護師・介護士の労働意欲向上のため、労働条件の改善を図られたい。

（公共下水道事業特別会計）

町営住宅の水洗化については、道路整備と併せた計画的な整備を図られたい。

水道事業会計

耐用年数を経過した水道管については、計画的な更新整備を図られたい。

病院事業会計

病院運営については、地域医療を守るために医師の確保に努め予防医療を充実し、町民に信頼される病院であるように努められたい。



村上 議員

学習指導要綱の改訂に伴う町の 取り組みは

新学習指導要綱の完全実施に向 け準備を進めている

村上議員 削減されてきた総授業時間を理科、算数、英語等を中心に増やす一方、総合的な学習時間及び選択教科を削減するなど「ゆとり」から「学力重視」への転換ともいえるが、ゆとり教育の評価は。

北川教育長 「ゆとりの中で生きる力を育む」を基本理念に、「確かな学力や豊かな個性、心の育成」を目指したもので、その考え方は間違ったものとは考えていない。

村上議員 小学校5・6年生に対する英語の授業等の円滑な移行についてはどのように考えているか。

北川教育長 小学校5・6年生の英語の授業は、平成22年度の5年生から先行実施する方向で各学校長と協議を進めている。

一部教科は平成21年度から先行実施することから、状況を確認しながら完全実施に向け取り組む。

介護従事者の処遇改善と次年度課税対象者に激変緩和措置を

処遇改善は図ったが保険料については申し上げることができない

村上議員 平成21年4月から介護報酬が見直されるが、介護従事者の平均年齢は何歳なのか。町として、介護従事者の職場環境改善と賃金等の見直しをしてはどうか。

尾岸町長 介護従事者の平均年齢は、正職員・臨時職員を合わせ、ラベンダーハイツで38⁴歳、町立病院老人保健施設で39歳であり、臨時職員が多数を占めている。

人材が定着しない状況が見られるが、本年度賃金を改定し、経験年数を経ることで増額となる処遇改善を行った。

村上議員 介護従事者の平均年齢が約40歳だということだが、施設等の現場にあつては高齢化に加え、認知症になってきている状況もあり、介護従事者の労働環境はますます大変になってきている。

賃金の見直しは本年度対応したということであるが、まだまだ不十分である。また、常時新規採用が必要では。

尾岸町長 介護に従事する職員の採用等々は非常に厳しいものがあるとの報告も聞いており、是正を進めてきたところである。

村上議員 介護報酬の見直しが4月改定の介護保険料に影響をきたし、かなり値上げになるのでは。平成20年まで町民税が非課税だった人が、次年度課税になった場合、激変緩和措置がとられていたが平成21年4月からはどうなるのか。

尾岸町長 現在、平成21年度から3か年の第4期介護事業計画を策定している段階であり、具体的内容が確定するのはまだ先になる。私の任期を

考えると申し上げることはできない。



その他の質問

○ 学校施設の安全性の確保に、定期的な点検と修繕・改善計画が必要では
A 施設整備計画の見直し等を進め学校施設の安全性の確保を図っていく



中 村 議 員

深山峠の大型観覧車建設により 景観を損うのでは

景観づくり推進会議の答申が私（町長）の考え方と一致するものである

中村議員 大型観覧車建設が

報道され、景観に関心を持つ町内外の人々から「すばらしい景観を失う」と批判の声があるため、着工に至る経過及び建設内容を。

尾岸町長 6月に産業振興課

に事業者から報告があり、町の政策調整会議を3回開催したが、地域振興と景観保護で結論が出ず、景観づくり推進会議に諮問を行い、その答申は私の考えと一致するので、適正な事業を実施するように

9月16日に事業者に通知した。

北向建設水道課長 「かみふ

らの景観づくり条例」に基づく「行為の届出」を要しない事業で、建設規模は上川支庁の確認申請事項で、9月8日申請、11月17日確認通知が出された。

建設内容は、観覧車仕様全

高50m、回転車47m、定員4名の客室を30台付設し、約11分22秒で一回転するもので、平成21年4月に開業の予定と聞いている。

上富良野中学校の生徒の駐輪場の改善を 屋根付駐輪場は当面考えていないが自転車置台は計画的に措置する

中村議員 上中学生の自転車

通学は、通学距離1.5km以上としていたが、平成8年度より全生徒を対象に諸手続き及び規則を定めて自転車通学を認めてきた。

その結果、屋根付駐輪場に入れられない自転車が80台以上（全体の1/3）で、その内の50台以上は1年生であり、登校後の雨天もあるので「屋根付駐輪場の整備」と、自転車

は整然と並べられているが、

自転車の出し入れの際に自転車の将棋倒しが再々あるので「自転車置台」の早急な設置を求めます。

北川教育長

自転車の盗難やいたずら防止に視界不良の状況をなくし、防犯と安全面を考慮、当面は屋根付駐輪場の増設は考えていない。「自転車置台」は計画的に設置する。

日の出公園臨時駐車場廃止後の駐車場確保は

北の大文字・・・大型店駐車を
雪まつり・・・東町官舎跡地を
夏イベント・・・新町長に引き継ぐ

中村議員 日の出公園臨時駐

車場は、農地法違反が16年に

わたっている事が判明し平成20年9月末にて農地に復元されたが、日の出公園を中心とした当町の観光事業には不可欠の駐車場である。当面の対策と、長期的視野での日の出

公園臨時駐車場跡地の買収を含めて町長の見解を伺う。

尾岸町長

「北の大文字」は公園近くの大型店駐車場、「雪まつり」は東町自衛隊官舎跡地と大型店に協力依頼している。今後については、新町長にて行うよう引き継ぐ。



上富良野中学校駐輪場(平成20年9月13日)

その他の質問

Q 自主防災組織の充実と今後
も増える災害弱者対策は。
A 25住民会で組織化されているが、活動の活性化が重要と考える、その対策を行う。
災害弱者対策は、家族・自主防災組織・消防・福祉機関の連携と、地域の日常での助け合う体制づくりが重要で、避難支援プラン策定の充実強化に努める。



和田議員

農業振興計画で交換分合、交換耕作の推進を

参考意見として新町長に引き継ぎたい

和田議員 第6次農業振興計

画の策定にあたって、5年後さらに10年後の農家戸数は何戸と予測しているか。

尾岸町長 農家の意向調査によると5年後は280戸、10年後は230戸に減少するとの見込みである。

和田議員 第5次農業振興計

画では予測を大幅に上回る25%の減少で、現在は343戸になっている。現在、後継者のいる農家は22%で将来200戸を割ることは必至である。離農跡地を残っている農家が引き継ぐことになれば、圃場が点

在して作業効率が悪く、管理が十分行き届かず経営に支障を来たすだけでなく、自然景観の保全もできなくなる。

そこで圃場の集積や区画整理で効率良く作業ができるように、農地の交換分合及び交換耕作の推進と、大型機械が安全に移動できるように、狭い町道や取付道路の拡幅を振興計画に盛り込むべきではないか。

尾岸町長 今後の計画案決定段階の参考意見として新町長に引き継ぎたい。

和田議員 農業はかつてない資材等の高騰で大きな試練に立たされており、また、クミカンの廃止で経営手腕が大きく問われ、先行き不安が高まっている。第6次計画では5年間だけでなく、さらにその先を見通した慎重な策定をお願いしたい。

尾岸町長 農業・商工業とも非常に厳しい状況にあると認識しているので、新しい町長に申し送りしたい。



かみん多目的ホールの音響の改善を現状のまま使用願いたい

和田議員

文化団体の悲願であった文化ホールの建設が財政難から見送られ、その代替として文化団体が百歩譲って造られたかみん多目的ホールは、極めて音響効果が悪くコンサートに不向きなホールである。せっかく造られたホールであり、できるだけ有効に利用してもらうため、また、音楽文化の振興のために音響状態を調査し改善してはどうか。

尾岸町長 音響を重視するコンサートには不向きな面があると思われるが、色々な方面に使われており、多目的ホールとしての設置目的は十分果たされている。現状のままでも利用願いたい。

和田議員 町長の文化に対する理解度、文化の役割に対する認識度が低い。町の社会教育の分野では、これまで体育の振興が優先され施設も十分整備された。これからは文化

施設の整備に力を入れてもらいたい。文化会館を建設していたとしたら十数億円の予算が必要だったはずだが、音響反射板の設置であれば数百万円の予算でホールの音響がある程度改善される。第5次総合計画の中に盛り込んでほしい。

尾岸町長 町長は全く認識不足などのご指摘ですが、文化会館として造ったのではなく、多目的ホールとしての利用頻度は多く、音響板の設置については、新町長の判断で対処されると認識している。



尾岸町長 福祉作業所の設置について、町外の施設を利用してはいる障害を持つ子の父母の方々から、地元の設置を望む声があることは、私自身も理解している。

町の障害者福祉計画では、富良野圏域における事業所の利用を図るよう支援してきたが、不足するものがあるとす

米沢議員 通所授産施設の誘致と看護師宿舎跡を再利用した通所授産施設の設置の考えは。

看護師宿舎を再利用した通所授産施設の設置計画を
看護師宿舎の再利用については新体制に引き継ぎたい



米 沢 議 員

るなら、今後十分配慮するように考えてきたい。

また、看護師宿舎跡の再利用については、膨大な財政投資を必要とすることから、新しい町長に事務引継をしていきたい。



看護師宿舎跡の再利用は...

西小学校体育館とグラウンドの整備計画を早急に平成21年度からの第5次総合計画に位置付けたい

米沢議員 老朽化が進む西小学校体育館の整備と水はけの悪いグラウンドの整備計画は。

北川教育長 西小学校の体育館は、開校時の昭和44年に建設され、町内小中学校の体育館では最も古い施設となっており、グラウンドにおいても、土が粘土質であることから、大量の雨が降った翌日は使用できない状況にある。講堂の改築及びグラウンドの整備

が必要であるとは考えているが、多額の費用が必要となることから、平成21年度からはじめ第5次総合計画に位置付けられるよう取り組みたい。

非常勤・臨時職員の処遇の改善を十分だとは思っていないが難しい

米沢議員 ラベンダーハイッ及び町立病院で勤務している臨時介護職員に対して、労働に見合った賃金などの処遇の改善について対応すべきでは。

尾岸町長 私は、正職員に対しても地域給等の格差をいかに是正していくかということが大切な課題であると認識している。

また、臨時職員の賃金も上げてやりなさいという声もある。十分だとは思っていないが、今の地域の状況からすると、なかなか難しいと考えており、今後については、状況を見極めて、新しい町長に対応してもらいたい。



老朽化が進む西小学校体育館

その他の質問

Q 介護保険特別会計の黒字を活用し、介護保険料の引き下げを
A 次期介護保険料に反映されるものと考えている

Q 小中学校のグラウンドに照明灯の設置を
A 照明灯の設置は考えていない

委員会所管事務調査報告

議会運営委員会では、所管事務調査として、「自治基本条例の策定」に向け、議会の条項部分の調査を行いました。

議会の活性化の取り組み

一般質問の方法を改正

一般質問の案内

防災行政無線による案内と各施設にポスターの掲示を行いました。

議会運営委員会

『自治基本条例の策定』

条例中の議会条項の調査について

6月30日に議員全員で担当職員より条例素案の策定の経過、内容等の説明を受け質疑と意見交換を行いました。

8月29日開催

の議会運営委員会において、自治基本条例の議会条項（第10条から第12条）については、議会運営委員会が所管し調査することとなったため、所管事務調査として「自治基本条例の策定」について10月21日、24日、11月2日の3日間にわたり委員会を開催し議会条項案を調査し、11月4日開催の全員協議会で審議し了承を得ました。



かみんでの地域説明会

11月5日から6回にわたり開催された「自治基本条例案」の地域説明会においては、議会運営委員が2名ずつ説明員となつて出席し、議会条項案の説明を行いました。その地域説明会で、住民からいただいた意見を参考に、11月17日と28日に委員会を開催し協議した。

『議会改革』

一括質問から一問一答方式に

議会運営委員会では、議会の活性化と傍聴者に分かりやすく、親しみやすい議会を目指して、第2回定例会（6月）と第3回定例会（9月）の2回にわたり、一般質問の方法を一括質問一括答弁だったものから、一括質問を行い再質問から一問一答方式でやり取りを行う方法に変え、試行的に取り組んできました。

議会運営委員会での審議過程では、最初から一問一答方式が良いのではという意見もありましたが、協議の結果、本定例会より最初の質問を一括で質問し、再質問より一問一答方式とすることになりました。

なお、制限時間については、質疑応答を含めて、一時間とし、時間を超えて質問は行わないことになっています。



上富良野町議会	
町議会開会のご案内 平成20年第4回定例会	
開会日 12月16日(火)・17日(水)	
一般質問 12月16日(火)	
※いずれの日も午前9時から開会です	
0一般質問	
原簿 議員氏名	件名
1 村上和子	1 介護従事者対策と介護保険料の見直し措置について
	2 学校施設の安全性の確保について
	3 学習指導要綱の改定がされたが、町としての取組みについて
2 中村有秀	1 自主防災組織について
	2 里仁地区の景観と「十勝岳アートビュー」の建設について
	3 日の出公園臨時駐車場について
3 和田昭彦	4 上富良野中学校の駐輪場について
	1 第6次上富良野町農業振興計画の策定について
	2 「かみん」多目的ホールの音響の改善について
4 米沢義英	1 障害者就労支援について
	2 介護保険制度について
	3 非常勤職員の処遇・待遇改善について
	4 西小学校の屋根整備について
	5 クラウンの照明灯設置について

「一般質問の案内を防災行政無線とポスターで」

一般質問の項目をポスター掲示

議会運営委員会では、新たな取り組みとして、これまで日程のみの案内だった防災無線による定例会のお知らせを、第4回定例会（12月）から、日程に加え一般質問者の人数及び項目数を案内することになりました。

また、今回から、各施設にポスター掲示の協力をお願いし、多くの町民に定例会開催の周知を図り、議会に対し少しでも興味を持っていただき、多くの方々に議会の傍聴に来ていただけるよう、議会としての取り組みを行っています。

掲示したポスターの内容には、

- ・会期、開会日、一般質問者氏名、一般質問件数を明記しています。

ポスター掲示場所は、

- 町役場
- 公民館
- 町立病院
- 社会教育総合センター
- 保健福祉総合センター（かみん）
- セントラルプラザ
- 郵便局

ふらの農業協同組合上富良野支所

JR北海道上富良野駅

ふじスーパー上富良野支店

エコープ旭川（株）ふらのウイズ店

ダイイチ（株）上富良野店

旭川信用金庫上富良野支店

空知商工信用組合上富良野支店

以上14か所に一般質問の内容を掲示させていただきました。

この一問一答方式は町民の皆様からも好評で、今後も続けていきたいと考えています。

議会運営委員会では、町民皆様のご意見をいただきながら、議会の活性化に取り組んでいきたいと考えています。どうぞご意見をお寄せ下さい。

「小学生が議会を傍聴に」

この度の取り組みの成果もあって、第4回定例会は傍聴者も多く、次のような結果となっています。

- ・定例会1日目、12月16日、60名。
- ・定例会2日目、12月17日、4名

また、定例会1日目の12月16日には、東中小学校5・6年生8名の児童と担任の先生が議場の見学と傍聴にきてくれました。

この町の将来を担う子供たちが、夢と希望の持てる議会運営でなければならぬと強く感じました。



真剣なまなざしで傍聴する東中小児童

総務産建常任委員会

『道外先進市町村行政調査』

平成20年10月27日から31日までの5日間、総務産建常任委員会は先進市町村である長野県軽井沢町でまちづくり基本条例、松本市で松本広域連合の取り組み、豊丘村で定住対策について、視察調査を行いました。

自治基本条例の策定について 長野県軽井沢町

条例策定にあたって、平成15年より職員によるまちづくり基本条例研究会で素案を作り、公募した町民による、まちづくり基本条例策定委員会」が、平成18年から平成19年まで6回、協働と参画によるまちづくり推進の方策について協議して、条例案が策定されていた。

全国でも有数の観光と避暑の町であり、別荘が増え



軽井沢町での研修

る中、貴重な財産である樹木の伐採で景観が壊されてきた経過を踏まえ、自然保護対策要綱の考え方を条例化できないかという考え方により基本条例制定に至った。

条例は条文15条でまとめられ、詳細については別立ての条例や既存条例との関係を専門家との協議の中で取り進めている。

まとめ

条文に極力、行政用語を用いないなど、誰にでも理解しやすいように策定し、用語の使い方なども法規審査会などで検討を加えるなど苦労が伺えた。

最高規範としての条例と既存の条例・規則との関連を検討することが必要である。

町民から声が上がって条例制定に至った自治体は少ないが、行政、町民、議会が一体となり協働で住みやすい地域社会を創造していくために必要なものとして、「自治基本条例」を育てていく必要があると考える。

広域連合の取り組みについて 長野県松本広域連合

昭和46年、広域市町村圏の指定を受け、平成元年にふるさと市町村圏に選定され、平成5年に広域常備消防体制が発足、平成11年松本広域連合に移行し、現在9市町村で運営している。

負担金は、共同処理している事務事業ごとに次の表のとおり設定されている。広域連合予算の94%が消防関係予算であり、当広域連合のあり方について検討が必要である。

議員数については、現在26人であり、議員がない市町村が出ないように9市町村に1人ずつ割り振られ、残り17人を人口割で割り振っている。

区分	項目	共同処理している事務事業
議会・総務費負担金	均等割30%	連合・連合議会・行政委員会の運営
	人口割70%	
民生費負担金	均等割15%	介護認定審査会・障害程度区分認定審査会の運営
	実績割85%	
消防費負担金	特別負担金10%	常備消防の運営
	基準財政需要割90%	
	署所設置経費	
	退職手当特別負担金 特別交付税分負担金	

まとめ

地方自治法の一部改正により、広域連合制度が新設され、松本広域行政事務組合に移行した経過であり消防の広域化を柱としている。

処理事務は、消防業務以外は富良野広域連合とは異なるが、行政サービスの向上を

目的としている点では重なるものが見受けられた。介護認定・障害程度区分認定業務の専門職員の養成、共同研修、派遣研修により事務事業の精度が上がり行政サービスの向上に繋がっている。

消防職員を松本広域消防局に身分移管、給与の格差をなくし給与体系が統一されていた。富良野広域連合の消防職員の給与に關しても十分に検討が必要である。

一部事務組合より引き継いだ業務は、人事交流などを図りながら、広域行政の推進と住民に対するサービスの向上に努めることが必要である。



消防通信指令システム

定住対策について 長野県豊丘村

年々人口が微減を続け、減少に歯止めをかける施策として、平成18年に目標年度を平成22年度とし、「人口増対策基本計画」を策定、平成17年度から平成19年度まで県のふるさと振興局の施策として県職員が配置

され、協議・整理するなど一翼を担っていた。

地域コミュニティへの参加がなければ自治組織の荒廃が懸念されるため、組織への加入を理解してもらい、「区長会」にも意見と協力を求め、住民が共同で取り組んでいる点も特徴的である。

働く場所が少ないため、飯田市（車で約30分）のベッドタウンとして、飯田市で働いている方の子育て、居住する場所として助成制度が充実している。

現在、人口が7千80人であり平成24年度まで7千500人を目標値としており、宅地造成等で16世帯、53人が増加している。移住定住ターゲットとしては団塊の世代は対象外であり、30から40歳代の現役世代を対象とするなど、少子化対策や納税等を期待する特徴的な政策であった。

まとめ

移住者の勤務先や所得確認などを慎重に審査して対応するなど、誰でもよいというのではなく、高齢者の医療費や福祉対策費の支出、現役世代の住民税等の収入や出生による人口増を視野に入れ、費用対効果の評価、移住者の的を絞った施策が特徴的なものであり、現状ではその効果が出ていると評価していた。

上富良野町も地元産業の育成、就労の場

の確保、農畜産物に付加価値をつける工夫、子育て世代が就労できる環境づくりの充実など、定住・移住する条件整備がより必要であり、定住対策の見直しや計画の整備が必要である。

『自治基本条例の制定について』

自治基本条例は、町が第4回定例会（12月）での上程を予定していたことから、第3回定例会（9月）において総務産建常任委員会の閉会中の継続調査とし、審議を続けてきた。

条例中の議会条項（第10条から12条）は、議会運営委員会が調査することとなったため、総務産建常任委員会では議会条項を除く部分について調査することとなり、委員相互の意見交換と意見集約を行った。

その中で、今回視察した、長野県軽井沢町の「まちづくり基本条例」を参考に、11月11日に条文・解説の検討をし、修正箇所を所管課に提案。また、地域説明会での参加者の意見等を参考に14日、21日と審議を重ね、最終条例案の上程について了承した。この条例は制定後も条文・解説書を各世帯に配布するなど、もっと理解を深める必要があると意見を添え報告とした。

厚生文教常任委員会

『町立病院の運営について』

国はすべての自治体病院に対し、「公立病院改革ガイドライン」に基づく「改革プラン」の策定を義務付けるとともに、北海道においては、「自治体病院等広域化・連携構想」で道内を30のエリアに分け、再編ネットワークを考えており、富良野エリアとして、富良野協会病院を地域センター病院と位置づけている。その中で、小規模であり病床利用率の低い病院は、中核病院との連携のもと診療所化を含めた規模の適正化について検討する必要があると考えられている。

そのような状況の中、厚生文教常任委員会は、平成19年10月22日から26日まで先進市町村である高知県佐川町立高北国保病院・高知県の町立国保仁淀病院・香川県綾川町立国保陶病院の3つの病院の視察調査を行ったことから、上富良野町立病院の運営についても比較検討を要すると判断し、平成19年12月4日に委員会を開催し、「町立病院の運営について」を閉会中の継続調査とした。以後11回の委員会を開き、町立病院の現状やこれからの課題等について調査を行い、定例会においてその報告を行った。概略は次のとおり。

改革と取組

「理念」「基本方針」の条例化

町立病院の「理念」と「基本方針」を示すように提言し、職員の手による「理念」と「基本方針」が示され、平成20年9月定例会で議決、病院内の各所に掲示された。

環境整備

駐車場周辺の混雑解消のため、ヒバを伐採して視界を良くし、交通安全と子どもセンター利用者の利便性の向上を積極的に図っている。

院内では、土足利用や玄関のスロープ化、手すり設置、受付窓口の開放、一階のトイレの改善。また、患者への「お大事に」「お気をつけてお帰りください」等、メッセージによる気配りが感じられる。

労働環境整備

医師・看護師当直室の改善と備品整備



給食業務の民間委託

19年度は600万の財政効果。また、地産地消（地元食材50%購入）を進め、献立にも嗜好調査を取り入れている。

病床利用率の向上努力

国が病床数削減や診療所化を求め、3年連続病床利用率70%未満の基準を自治体病院に提示し、道は、平成19年度時点で道内99公立病院のうち約4割にあたる病院が該当することを公表。

上富良野町立病院の利用率は下の表のとおりであり、利用率の向上に努めているものの、非常に厳しい状態である。

町立病院病床利用率

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
一般病床(44床)	59.8%	59.1%	70.0%
療養病床(36床)	75.4%	74.5%	62.1%

病連携による地域医療支援

町民の利便性を考え、協会病院からの医師派遣により泌尿器科・循環器内科・眼科を開設し、白田院長は協会病院へ内科の診療応援をしている。

医師・看護師の確保

医師数や看護師数の変化が診療規模や病院の収入に影響を及ぼすことから、看護師確保のため、奨学金を月額5万円以内から7万円に増額。院内保育の整備。

病院関係者の連携

医師・看護師・事務職員及び町立病院運営審議会と厚生文教常任委員会による意見交換会や懇談会、視察を開催することにより、一丸となつて町立病院運営にかかわり、改善を進めていく意思を確認。

現在の情報公開と情報共有の動きはすばらしく、十分な説明と豊富な資料提供においても、努力の跡がうかがえる。

介護療養型老人保健施設への転換

これまでの療養病床を介護療養型老人保健施設（28床）へ転換したことは全道の先駆けとなり、自治体病院関係者から注目を浴びている。



今後の課題

救急医療体制の確保について

平成19年度の時間外診療患者数は1千944名、救急車搬送者数は293名。上富良野町の出生率が1.86%と全道一であることを考えると乳幼児も多く、また、65歳以上の高齢者も23%（2千905人）を超えている事から、救急医療体制の充実は不可欠である。今後はドクターヘリの利用も視野に入れて行く必要がある。

町立病院の建物の維持、管理について

昭和55年に現在地に移築して28年が経過しており、屋根、壁、トイレ等の改修を行いながら延命策を講じてきているが、今後、計画的な基金積立等を考えていかなければならない。



町立病院の維持存続について

上富良野町立病院は「道内公立病院の病床利用率3年連続70%未満」や「不良債務」の基準にはかろうじて入っていないものの、維持存続に向けて、予断を許さない状況であり、町民から支持される病院となるための努力を、町・議会・町民が一体となつて進めていかなければならない。

まとめ

上富良野町第5次総合計画の町民アンケートの中で、「今後10年間どの分野に重点をおくべきか」との設問に79.5%の人が保健・医療・福祉の充実をあげており、多くの町民の上富良野町立病院に対する期待が感じられる。

町民に夜間や休日など時間外診療の充実を望む声があることは理解できるものの、現在の医療体制では地域医療の崩壊につながる可能性もあり、医師の確保や救急外来の適正化（コンビニ受診を防ぐなど）や救急車の適切利用の普及啓発も含め、町民の理解を求めていかなければならない。

現在、町立病院は運営にかかわっている医師・看護師・事務職員の努力により、大きく改善してきており、特に療養病床転換の取り組みは療養病床廃止への不安を持つた入院患者や親族の不安を解消し、町や町立病院への信頼感を大きくした。また、町立病院内外の環境整備が進められ、利用しやすくなつてきている事を町民に周知し、さらなる改革を進めていかなければならない。

上富良野町立病院の維持・存続に向けて、町民の期待と信頼に常に答えられるよう、医療スタッフが改革意識と経営意識を持ち、質の向上を図ると共に、自治体病院が町民の健康と生命を守るためであることを優先に考えれば、財政上の負担はやむを得ないと思われる。



議会の“窓”

上川支庁管内町村 議会議員研修会に参加

10月21日に10名により、旭川市で開催された上川町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

研修会では、財団法人日本消防協会会長 元総務大臣 片山虎之助氏より「これからの地方自治」、旭川医科大学学長 吉田晃敏氏より「旭川医科大学が推進している地域医療」の講演を受け研修してきました。



片山虎之助氏による講演

お詫びと訂正

60号(2008年10月25日発行)の教育委員会委員の記載で誤表記がありましたので、訂正してお詫びいたします。

(正) 菅野博和氏

昭和46年北海道立旭川農業高等学校を卒業
(誤) 菅野博和氏

昭和26年北海道立旭川農業高等学校を卒業

紙面の都合により61号の企画記事「もっと知りたいいまちのこと」はお休みしました。

議会の動き

【10月】
27～31日 総務産建常任委員会
道外先進地行政調査

【11月】
27日 厚生文教常任委員会
2日 議会運営委員会
第5回臨時会
4日 全員協議会

11日 総務産建常任委員会
17日 議会運営委員会
21日 総務産建常任委員会
28日 議会運営委員会

【12月】
3日 厚生文教常任委員会
8日 総務産建常任委員会
10日 議会運営委員会
11日 議会広報特別委員会
12日 富良野広域連合議会総務産建常任委員会
16日 第4回定例会
17日 第4回定例会
17日 全員協議会

【1月】
26日 議会広報特別委員会
19日 富良野地区環境衛生組合議会
8日 議会広報特別委員会
15日 議会広報特別委員会
19日 富良野広域中内草地組合議会
20日 議会広報特別委員会
26日 富良野広域連合議員協議会
27日 議会広報特別委員会
29日 第1回臨時会
30日 全員協議会

30日 中富良野町議会議員会との交流研修会

随感随筆

温暖化による気候の変化がじわりと押し寄せている中、春の日差しを想わせるような新春を迎えました。毎年恒例の箱根駅伝で、母校の伝統を想う気持ちや、チームの繋ぎ役として責任を果たす熱い気持ちを、「タスキ」に見ることができ毎回感動します。

昨年、米国で起きた未曾有の金融危機は、国内にも波及し、暮れの寒中、住む所も無い人々が列をなしている姿は、新自由主義がもたらした格差社会や大企業優先という歪の本質が見えた様でした。一生懸命働いても報われない世の中が理想だと思ふ人は居ないはず・・・「トリクル・ダウン」論は今ももう通用しないと思います。

上富良野には他に類を見ない美しい景観や十勝岳を含めた自然が財産としてあり、先代から受け継いできたスピリットをいかに継承し、守りぬいて行くのか、「タスキ」の掛け渡しを皆さんと共に直視していきたいと思ひます。



- (佐川 記)
- 委員長 岩田浩志
 - 副委員長 和田昭彦
 - 委員 岡本康裕
 - 谷 忠
 - 今村辰義
 - 佐川典子

議会の様子を見にきてください！ 次回定例会は3月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町2-1-1
☎(0167)4516992 版(〇七)四一五三六二